

出題のねらい・解答例 〔学校推薦型選抜〕

中村学園大学〔流通科学部〕

【小論文】

〈出題のねらい〉

本小論文の出題にあたっては、流通科学部における学習の中心となる経営学・商学分野を見据えて題材の選択を行った。

出題は、マーケティング分野の大家のフィリップ・コトラーの「広告が欲望をつくり出す」の箇所である。アメリカの広告のメリットやデメリットについて記述されている。現代にも影響を及ぼしているアドバタイジング（広告）にかかわる基礎を取り上げている。この概念を理解しているかどうかを取り上げることは、入学後、流通科学部での学習基礎をみる上で、欠かせないものである。

第1問では、広告のメリットについて記述された箇所を文中から適切に抽出し、制限文字数以内で、簡潔にまとめる力をはかることをねらいとした。

第2問では、広告業界の批判について記述された箇所を文中から適切に抽出し、制限文字数以内で、簡潔にまとめる力をはかることをねらいとした。

第3問では、全体を通して広告が欲望を作り出すことが述べられているが、解答者自身が広告に関してどのような意見を持っているかについて、広告のメリットや広告業界の批判を踏まえたうえで適切に説明する能力をはかることをねらいとして出題した。

〈模範解答例〉

問1：広告のメリットは、製品・サービスについて知らせてくれること、訴えかけの内容をより的確に判断する訓練を積み、商品の特徴や利点を理解できることである。また、ラジオやテレビ番組を無料で楽しむことができる。(99文字)

問2：広告を批判する内容は、広告業界が力を持ちすぎであり、あらゆる策略を講じて我々に不要なものまで買わせていることである。また、収入から許されるより多くのモノを消費したいと人々に思わせる点である。(95文字)

問3：商品の特徴や利点を理解できることなどの広告のメリットと、あらゆる策略を講じて我々に不要なものまで買わせていることなどのデメリットを理解した上で、賢く現代を生きなければならない。主体的にインターネットと携帯電話を活用し、商品やサービスの評価をチェックしながら商品やサービスの購入を行うことである。(147文字)